

2024年度 埼玉県済生会加須病院病院勤務医負担軽減計画

項目	目標	2024年度の計画および対応	
業務 分 担	医師事務作業補助	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登録業務</li> <li>・文書作成の拡充</li> <li>・診察のバックアップ</li> </ul>	①NCD（泌尿器科・外科）JND（脳外）JOANR（整形外科）循環器内科学会のデータ入力 ②各種診断書の作成強化 ③パスに関連するサマリーの作成（パスを逸脱するものを除く） ④診察当日の検査結果がでているかの確認や各検査部門との連絡調整
	薬剤部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病棟薬剤業務推進による薬物治療の質向上</li> <li>・外来業務の負担軽減、安全性の向上</li> </ul>	①薬剤の適正な情報提供を通して、安全で効果的な薬物療法を支援する ②定期処方、持参薬の代行入力 ③周術期における術前休薬対応（ダブルチェック）、術後再開確認 ④院外薬局からの疑義照会対応窓口としてフィルタリング
	放射線技術部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務内容の拡大</li> <li>・チーム医療への介入</li> <li>・臨床業務への介入</li> </ul>	①造影剤を投与するために当該造影剤注入装置を操作する行為を放射線科医に代わり実施する行為 ②CTコロノグラフィーにおける注腸行為を技師が請け負い医師の負担を軽減 ③血管撮影室におけるIVR支援画像の作成と提供 ④血管撮影室における動脈路に造影剤注入装置を接続する行為 ⑤血管撮影室における動脈に造影剤を投与するために造影剤注入装置を操作する行為
	臨床検査部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務内容の拡大</li> </ul>	①超音波検査などの予約検査での当日飛び込みに対応し、至急の報告に対応する ②内視鏡技師としての補助 ③心臓、下肢のカテーテル検査に積極的に参加し、時間外の緊急検査にも対応する ④病理検査で陽性・疑陽性検体の報告書を印字し秘書に配布して、結果見落とし防止に努める ⑤医師の学会報告時の免疫染色の依頼、顕微鏡写真などの依頼に対応する ⑥医師の依頼による検体の保存、検体の郵送に協力する ⑦チーム医療（ICT、NST、自己血輸血等）に積極的に参加し、他職種と連携する
	看護部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定行為に係る看護師養成</li> </ul>	①看護師特定行為研修を受講させ、特定看護師を計画的に養成する
	臨床工学部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機器管理の質的向上・臨床業務への介入</li> </ul>	①医療機器についての勉強会を行い、安全に機器を使用してもらえよう支援する ②心臓カテーテル業務の支援をする
	リハビリテーション部門		①リハビリテーションに関する各種書類の記載・説明・書類交付の補助
	栄養部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チーム医療への積極的な関わり</li> </ul>	①栄養必要量確保のための食事内容（経経管栄養含む）調整  ②NST介入による栄養状態改善  ③栄養指導の強化
■医師の確保と勤務体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師の増員、確保、当直回数の制限、当直</li> </ul>	①常勤医師の増員・確保を行い、交代制勤務導入への体制を整える	
■当直の負担軽減	<ul style="list-style-type: none"> <li>翌日の勤務の配慮</li> </ul>	②当直翌日は連続勤務制限に配慮する（上限を超えた場合には、代償休息を促す）	
■外来機能の適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域医療支援病院としての役割強化</li> </ul>	①地域医療支援病院の要件を基に、医療機関との連携を図り、逆紹介を推進する	
■勤務時間の管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代償休息の管理</li> </ul>	①勤務時間管理を行い、代償休息の発生を管理し消化を促すことで医師の負担軽減を図る	
■妊娠・子育て中の職員に対する配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・院内保育所の維持・病児保育の検討・短時間勤務の啓蒙</li> </ul>	①育児時間、育児短時間勤務の積極的な活用を促す	

2024年度 埼玉県済生会加須病院病院看護師負担軽減計画

項目	目標	2024年度の計画および対応	
業務分 担	薬剤部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病棟薬剤業務の推進</li> <li>・チーム医療への積極的な関わり</li> </ul>	①病棟薬剤業務として、内服薬管理業務（持参薬カウント・管理、処方切れの確認、退院処方の確認、転棟時の薬剤処理、全配薬、中止変更処理、病棟ストック薬管理）、注射薬管理業務（末梢点滴一部混注、抗癌剤投与前確認、配合変化チェック） ②医薬品安全管理（教育、啓蒙） ③各種医薬品情報の作成・提供 ④血糖測定用センサーと針の払い出し ⑤薬剤パンフレットの発注、製薬会社への連絡窓口 ⑥薬剤の期限チェック ⑦年度末病棟、外来配置薬剤棚卸し
	放射線技術部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タスクシフト・シェア 放射線科全体の業務効率化</li> <li>・他職種との連携と協力</li> <li>・看護師と連携協力</li> </ul>	①造影剤を使用した検査終了後に静脈路の抜針及び止血を行う行為 ②造影剤を使用した検査のために静脈路を確保する行為 ③血管撮影室の検査関連における物品出し協力 ④血管撮影室検査終了後の廃棄物品の仕分け ⑤病棟患者における胸腔ドレーン研修の実施（看護師による検査出し負担軽減）
	臨床検査部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務内容の拡大</li> </ul>	①ERを除く外来採血はほぼ臨床検査科で行う ②病棟採血について朝の30分間行う ③翌日分の病棟採血の採血管準備を行う ④内視鏡検査介助業務に関わる
	看護部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護補助者の質の向上および業務の拡充</li> </ul>	①看護職員の負担軽減のため、ナースクルーを確保する ナースクルーを充実させたいうえで、夜勤時間帯への導入を検討する ②病棟薬剤師との業務分担を進め、安全な薬剤管理を行う ③注射薬の混合調剤については、薬剤科と業務分担を進める ④看護事務作業の病棟クラークとの業務分担をさらに進める ⑤365日の保育を目指し、夜勤時間帯の保育の充実を進める ⑥病棟・外来一元化の準備及び1部開始
	臨床工学部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機器管理の質的向上</li> </ul>	①医療機器についての勉強会を行い、安全に機器を使用してもらえるよう支援する ②看護業務効率化に役立つ為の、業務運用に於ける役割等の検討と実施
	リハビリテーション部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務内容の拡大</li> </ul>	①患者搬送、移乗を移管および効率化する ②病棟でのリハビリテーションの拡大・推進を図る
	栄養部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務内容の拡大</li> </ul>	①栄養管理計画書の作成 ②ミールラウンドを充実し、食事摂取量の確認 ③食事内容調整
	事務部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務内容の見直し</li> </ul>	①入院セットの見直し（看護師の負担が少なくなるように業者を選定）/用度管財課 ②会議・委員会について、所定労働時間内での開催時間に変更/人事総務課
	■外来機能の適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域医療支援病院としての役割強化</li> </ul>	①地域医療支援病院の要件を基に、医療機関との連携を図り、逆紹介を推進する